

検証目的

定員に空きのある保育所等において、未就園児を預かり、利用促進の方法、利用の調整、要支援家庭等の確認方法や、保護者に対する関わり方などを具体的に検討し、保育所の多機能化に向けた効果を検証する。

検証方法

事業の検証は支援記録、保護者との定期面談、検討会を通じて行われ、実績報告書にまとめられる。

《事業の内容》

- 未就園児の預かり
- 積極的な利用の促進
- 支援計画・記録
- 保護者との定期面談

《検討会》※保育所や有識者等から構成
検討事項の一部は以下の通り。

- 支援記録に基づくこどもの変化
- 定期面談に基づく保護者の変化
- 保育の利用促進を図るための方策
- 職員配置や設備基準

《実績報告書》

報告事項の一部は以下の通り。

- 利用料、申込の方法
- 利用児童数
- 利用促進の方法
- 要支援家庭等への対応方法
- 関係機関との連携
- 保護者の面談結果
- こどもの変化
- 職員配置や設備基準

《EBPM推進室の役割》

EBPM推進室は、ロジックモデルの作成や定量的評価などの観点で、本モデル事業の検証に協力する。

※事業の主体は成育局保育政策課

スケジュール

- 本事業は2023年度に実施。2023年3月にEBPM推進室の検証への参画が決定した。
- 2023年4月に事業実施自治体の公募を行い、実施自治体を決定済み。
- 各事業実施自治体は、保護者・保育者にアンケートを行ったうえで検討会を実施し、その結果を踏まえた実績報告書を、こども家庭庁に提出する。
 - 保護者へのアンケート 利用前、秋、年明けの3回
 - 保育者へのアンケート 秋、年明けの2回